

ウクライナ・パレスチナの 留学生と一緒に学ぶ『世界のこと』

主催 広島ユネスコ協会・広島市青少年センター

10月20日(日)に、広島市青少年センターと共催で、「ウクライナ・パレスチナの留学生と一緒に学ぶ『世界のこと』」と題する学習会を開催しました。参加者は、高校生を中心とする16名で、4グループに分かれて進められました。

ゲストとして海外から来広している4名の広島大学院留学生(ウクライナ、パレスチナ、エジプト、ナイジェリア出身)をお招きし、各グループの活動のサポートをしていただきました。会は、必要に応じて日本語を交えながらも、基本的には英語で進行されました。

はじめの基調講演では、ウクライナ出身のレペシュコ・アリーナさんから、演題「The War That Changed Everyone」、パレスチナ出身のジャスミン・エルモギーさんからは、「The History of Palestine」をテーマに、それぞれの国の歴史・文化、紛争下の生活状況や平和への願いについて、話していただきました。

その後は、ユニタール広島事務所の鳴戸彩さんにファシリテーターをお願いした上で、グループディスカッションを行い、講演を通して得た感想や疑問をグループごとに共有し、参加者・留学生が一緒になって学びを深化させました。最後に、グループごとに感想をまとめて発表していただきました。

参加者からは「海外からの留学生とお話できる機会はなかなか無く、またテレビで報道されるような、戦争が起こっている国出身の方のお話を直に聞いたのも、自分ごととしてとらえられるきっかけとなってよかった」「普段では聞けないようなお話を聞いて、そしてまとめる事で、今後どうしていったらいいかが見えてきて、次のアクションに移す何かになると思ったから満足です」「(印象に残ったこととして)みんなとプレゼンのスライドを作ったこと。英語を交えながら discussion するのが楽しかった」などの声が寄せられました。

また会合の合間に交わした参加者との会話でも、多くの高校生がウクライナやパレスチナについて興味はあるものの、その歴史や状況についてよく知らなかったという声が聞かれました。その意味で、この日の講座が「世界のこと」について知る、または興味を持つきっかけになったのであれば幸甚です。

参加者並びに留学生、運営に関わった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

(青少年育成部会 坂口英司)



レペシユコさん(ウクライナ)



ジャスミン エルモギーさん(パレスチナ)



グループ A



グループ B



グループ C



グループ D



発表会



みなさん、お疲れさまでした。